



見附市立見附小学校 学校だより

「自ら学び 進んで鍛え 共に伸びる見小の子」

みしよ

No. 325

令和4年7月22日（金）発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Tel 0258 (62) 0141

<http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~misho/>



自分磨きの夏休みに

校長 後藤 正美

本日の終業式での話を紹介します。

私は、この季節になると思い出す教え子がいます。まだ若かった頃に出会ったAさんです。5年生だったAさんは、勉強はあまり得意ではありませんが、スポーツ好きで友達にも慕われていました。そのAさんが、漢字や計算以上に苦手になっていたのが、実は水泳でした。水が怖くて力が入るのか、いつも2mで沈み立ってしまうのです。一度も水泳授業を休まないこと、それがただ1つの自慢でした。

そのAさんが、ある日の授業で突然きれいな姿勢で体を伸ばすことができました。怖さがとれたのか、偶然なのかは分かりませんが、とにかく「けのび」がようやくできたのです。

「う～ん、うまい。Aさん、今のは格好がよかったぞ～！」

何気ない一言でしたが、彼にとっては水泳でほめられる経験が少なかったため嬉しかったようです。その後も黙々と「けのび」ばかりをしていました。浮くことが得意になった彼は、自己流のクロール泳ぎを開発して、夏休み中のプール開放でも毎日練習をしていたそうです。

さて、その学校では9月の最初にも水泳検定の授業がありました。Aさんはいつものフォームで泳ぎ始めます。見た目はやはり悪いのですが、壁でも決して足を着きません。みんなが驚いて注目していると、何とそのまま900mを泳ぎきったのです。クラス全員が大きな拍手をしたのは言うまでもありません。「2mから900m」へ、まさに夢のような上達ぶりでした。

子どもの時は、わずかなことをきっかけにして力が伸びるものです。今年泳ぎが上達する子もいれば、大人になってからの子もいるでしょう。いずれにしても、努力を続けて休まないことが何事にも大切です。運動でも勉強やお手伝いでもよいのです。何か1つ続けられる「努力」を見つけると、夏休みが素敵な時間になりますよ。

写真のように、学校での真剣な学びは大切。地域社会での学びも同じくらい大切です。自分磨きの夏休みを過ごした子は、2学期に大きく成長して登校してきます。見小っ子が安全で充実の夏休みを過ごせるよう、皆様のお力添えをお願いいたします。